



東日本区理事通信



主 題 『広げよう ワイズの仲間』

“Extension Membership & Conservation”

スローガン『楽しくなければワイズじゃない 積極参加で実りある奉仕』

“Joyful life through Y'sdom Service with Positive action”

強調月間 評価

2018. 6. 1 発行 第 12 号

理事メッセージ 東日本区理事 栗本治郎



多くの抱負と期待を込めてスタートした今期も後一ヶ月となり、いよいよ明日から第21回東日本区大会(沼津)が始まります。主題を「広げよう ワイズの仲間」として、EMC に全力投球をお願いした一年間でした。様々な機会に会員増強の願いをしてきましたが、残念ながら、大きな成果を上げることは出来ませんでした。然しながら、会員増強への思いは多くの皆様が強くされたことと思います。また、部エクステンション委員会は、全ての部でスタート致しました。今期中の新クラブ誕生には至りませんでした。2年目3年目には必ず新クラブが誕生してくるものと期待しております。皆様の今後ますますのご活躍、ご健勝を祈念いたします。

国際ユースコンボケーション (IYC)

参加者決定

8月6日～12日に韓国(麗水)で開催される国際ユースコンボケーションに6名のユースの参加が決定いたしました。国際大会で会う機会が有りますので応援して下さい。

1 宮内蒼也君

(中央大学 YMCA、東京八王子クラブ推薦)

2 須郷利貴君 (STEP で台湾在中)

(中央大学 YMCA・STEP 生、東京八王子クラブ推薦)

3 泉明寺さくやさん (暁秀高校、熱海クラブ推薦)

4 永坂 仁君 (AYR、宇都宮クラブ推薦)

5 新井実帆さん (立教大学 YMCA、埼玉クラブ推薦)

6 平川真友美さん

(清泉大学 YMCA、東京北クラブ推薦)

第28回アジア太平洋大会実行委員会開催

アジア太平洋地域大会の第3回実行委員会が5月13日(日)に、四谷のYMCA 同盟2階会議室で開催されました。本会議において、大会ロゴマーク、登録費、予算および国際議会の開催、国際会長・アジア

太平洋地域会長の就任式開催等が決定しました。また、プログラムの詳細、AYC 内容確認やチラシ・横断幕等の今後のPRに関する件も検討されました。



【活動報告】オープンフォーラム Y

5月19日に東京都墨田区にある興望館にて第7回オープンフォーラム Y が開催されました。オープンフォーラム Y は「参加者一人ひとりが現場の人の声を聞き、社会的課題を自分のこととして認識し、新たな一歩を踏み出す」をテーマにして開催され、本年は「平和活動に関わる若者」に焦点をあてられました。

参加ユースは22名、栃木YMCAや富山YMCAのユースリーダー、大学YMCAメンバー、社会人など、様々な参加者で構成されています。Wake Up Japanの協力者とワイズ合わせて17名が講師および運営に関わりました。YMCA同盟インターンの高くんや所沢クラブの大澤さんも講師をされました。朝10時から昼食をはさんで18時半まで熱心なセッションがなされ、10代からシニアの方までの参加者が年齢や立場を超えて、より良い会のために話し合った会場の雰囲気は非常に良かったです。

この場での話し合いを今後のアクションにそれぞれが活かしていけるとよいのではないかと思います。

原文衣笠、編集長津

世界マラリアデーイベント

国際・交流事業主任 進藤重光

約230名の参加者をお迎えし、大成功のうちに閉幕

2018年4月25日 世界マラリアデーイベント企画

【ZEROマラリア2030キャンペーン2018 狂言「蚊相撲」と日本のマラリア】

- ◆日時：2018年4月25日（水）17:30～19:20
- ◆主催：ZEROマラリア2030キャンペーン
（事務局：認定NPO法人Malaria No More Japan）
- ◆共催：上智大学 ◆後援：朝日新聞社／株式会社電通／UNICEF東京事務所／UNDP駐日代表事務所
ワイズメンズクラブ国際協会東日本区・西日本区
- ◆会場：上智大学 四谷キャンパス2号館17階 国際会議場
- ◆出演者・登壇者：植木安弘（上智大学 国際協力人材育成センター所長、総合グローバル学部教授）／大藏基誠（能楽師狂言方）／狩野繁之（国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部長/Malaria No More Japan理事）／柏倉美保子（ビル&メリンダ ゲイツ財団 日本代表）／近藤哲生（国連開発計画（UNDP）駐日代表）／武井弥生（上智大学総合人間科学部看護学科准教授）／石田一郎（朝日新聞社マーケティング本部長）

4月25日の「世界マラリアデー」のイベントでは、国際組織・NGO・NPOが連携し、ワイズメンズクラ

ブ国際協会もRBM事業の一環として後援を行いました。多くのワイズが協力、約230人の参加者をお迎えし、大成功のうちに幕を閉じました。翌26日には朝日新聞の朝刊で報告記事が掲載され、来年の世界マラリアデーでは、さらにワイズの活躍が期待されています。皆さまの引き続きのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



東日本大震災被災地訪問活動

「歌の出前」童謡・唱歌を歌う会
東京たんぽぽクラブ6人 4月27日



5月入会者紹介

進藤真知さん(東京むかでクラブ)
玉木一成さん(長野クラブ)
山口亮二さん(宇都宮東クラブ)
岡田卓史さん(熱海クラブ)

6月役員会他の予定

6月 1日 東日本区第4回役員会・前夜祭
6月 2日～3日 第21回東日本区大会(沼津)
6月 8日～9日 第21回西日本区大会(神戸)
6月15日 次期 EMC 小委員会
6月16日～17日 第7回 YMCA 同盟協議会(東山荘)
6月20日 次期常任役員会

JEF 献金 5月

伊藤幾夫さん(東京多摩みなみ)	10,000円
越智京子さん(東京たんぽぽ)	10,000円
金子 功さん(横浜)	10,000円
宮内友弥さん(東京武蔵野多摩)	10,000円

6月は評価の強調月間です

この一年間の活動を振り返り、実現できたこと、出来なかったこと、新たな課題を明確にして、次期に引き継ぎましょう。

ITアドバイザー報告

大久保知宏

今年度の次期会長研修会においてFacebookを活用した情報発信について研修が行われた。情報発信を区のウェブサイトだけに頼らず、個々のメンバーによるものとなることを期待されるとともに、ITアドバイザーの役割にも変化が必要と感じられた。また、ウェブサイトでの情報発信も、クラブ内への伝達がほとんどであり、クラブ外への活動のアピールについては、より一層の工夫が必要と思われる。メーリングリストについては、リアルな会議のための連絡方法として使われているが、物理的な障害を越えるコミュニケーションの道具としての活用をそれぞれの会議主催者は考える必要がある。

2017-2018年東日本区文献・組織検討委員会活動報告(2017年7月～2018年5月)

委員長 利根川 恵子(川越)

文献・組織検討委員会は、今年度、合計7回(うち1回は6月末に開催予定)の委員会を開催し、以下の成果をあげた。

1. 「東日本区理事キャビネット 活動の手順」の作成
この手順書は、理事から理事への引き継ぎがスムーズに行われることを目的としたマニュアル。特に今まで、口伝として成文化されずに実施されてきた理事キャビネットの活動等について精査し、明文化。2018年3月9日付で理事に答申。
2. 「東日本区定款施行細則」の改訂
東日本区定款改訂に伴い、「東日本区定款施行細則」を見直し、改訂案を作成。
第3回役員会(2018年4月7-8日)で承認。
3. ハンドブックの見直し
2018-19年度用ハンドブックの中で、改訂が必要な規則や規定を見直し、改定案を作成。
第3回役員会(2018年4月7-8日)で承認。
4. 「会員増強に関する提言」の検討
会員増強を組織の面から考えるために、委員会内に小委員会を設置し協議。理事の方針として設置された各部のエクステンション委員会の動静を見ながら、協議を継続予定。
5. 「東日本区大会マニュアル」の作成
東日本区大会ホストクラブのマニュアルとして作成予定。今年度は編集方針、記載項目の検討のみ。来年度継続予定。

「メネット委員長のつぶやき」

ワイズメネット委員長 大村知子

2月以降、八王子クラブメネットナイト、東京クラブメネット例会、あずさ部3クラブ合同メネット会、東京江東クラブワイズメネットノーサイド例会に参加し、三島クラブのメネット料理教室、TOF 例会共催・企画して、メネットがワイズの活動に寄与していることを実感しました。その礎には長年のそれぞれのクラブの蓄積があることを再認識しました。

私が昭和43年にメネットになった当時、ワイズはメンとメネットが共に参画して活動していて今日、国を挙げて提唱している男女共同参画が既に当たり前でした。ワイズの活動に家族ぐるみで参加する一方でメネットが自主的な企画を進めている姿に感動しました。この半世紀、メネットの生活スタイルや夫婦のパートナーシップのあり方が変わり、女性メンバーも増えました。メネットのあり方も社会変化に対応する柔軟性が必要かと考えます。

今後、メネット活動をメネットとワイズウィメンの協働で企画・運営する方法も選択肢の一つであり、今後の在り方を示唆していると思います。ウィメンのメネットへの期待度や視点も色々でしょうが、その多様性こそ貴重と捉えます。メネット会衰退の言い訳を云々するより、部単位のメネット会、部の枠組みを越え個人がオール東日本区メネット会を結成するなど、メネットのパワー結集方法について「出来ること探し」を皆でしませんか。



(あずさ部3クラブ合同メネット会)

定款改訂委員会

定款改訂委員長 辻 剛 (横浜つづき)

日頃のワイズダムの発展のためのご奉仕に感謝申しあげます。皆様のご協力によって東日本区の改訂定款は国際協会によって既に承認されておりますが、その際、国際協会内で色々支援して下さったのが国際憲法見直し委員会のシルビア委員長です。そのシルビア委員長がこの度、YMIワールドNo.3に東日本区の改訂定款の「前文」について

“記憶すべき「前文」”と題してお褒めの言葉をいただきました。ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、改めてご紹介させていただきます。皆様には今後いろいろな形で“全文”でも“一部”でも結構ですから大いに利用していただきたいと思います。

“記憶すべき「前文」”

国際憲法見直し委員会委員長として、私は、世界中の地域や区から送られる定款の改訂案、助言や勧告を慎重に検討し国際議会に上程します。

最近受け取った東日本区定款改訂案のファイルを開いた瞬間、私はその「前文」にいたく感動し、直ちに、これを、ワイズ全組織のクラブやクラブメンバーと共有したいとの思いに駆られました。

現在、多岐に渡るコミュニケーション手段が使われている中、YMI World の1ページこそ、そこに至る最も適した媒体です。

この東日本区憲法「前文」は、ワイズメンズクラブ国際協会の本質、クラブの役割、区や地域の役割、クラブメンバーの目的などを端的に要約しています。これこそ、より良い世の中に向けた我々の愛の奉仕の完璧な定義であり、これを皆さんと共有することは私の喜びであり光栄とするところです。

シルビア レイセス デ・クロッチ

「前文」

この定款は、ワイズメンズクラブ国際協会の憲法に基づき、東日本区および区内の各クラブの発展を願い、東日本区の組織と運営の基本を定めるものとして制定されました。ワイズメンズクラブの活動の主体は、それぞれのクラブです。区および区内の各クラブは、各クラブがより豊かな活動を進めること、クラブ間の連帯、交流を深めることを支援するために存在しています。私たちのモットーは、「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」です。このモットーのもと、私たちは、国、世代、性別、宗教等の違いを乗り越えて多様性を認め合い、YMCA および広く地域社会に貢献します。世界のそして私たち東日本区の会員は、相互の絆を深め、愛と奉仕を通して、世界の平和と人類の幸福の実現に寄与することができるよう、絶えず努力を続けていきます。

会員増強に思う！

会員増強事業主任 榎本 博 (伊東)

「会員増強は永遠の課題である…」先輩たちから何度この言葉を聞いたでしょうか。その時は「確かに…」と思うだけで、そんなに深く考えた事も無かった。近年、自クラブのメンバー数の減少に伴い、委員会の合併や役職の重複など、クラブ内組織においても・事業運営においても、個人に掛かる負担が多くなってきた。この状況を会員増強だけで補えるのか？と言ったらそうではない。なぜならば…ワイズ (伊東クラブ) は身体的奉仕が主だからだ。金銭的だけならその方が楽なのかもしれない。また会員数が多いクラブへの入会であれば、それも楽かもしれない…。今は選ぶ前に選ばれる。個人 (メンバー) はもちろん、クラブに魅力が無ければ入会してもすぐに退会なんて事だってあり得る。ワイズとYMCAを考える前に自クラブを見つめ直す (自分を見つめ直す) 事をし、現在に合うものにしなければ次代を担う者の獲得は出来ない。とは言え… 難しく考えると嫌になるので (笑) 栗本理事のスローガンにある「楽しくなければワイズじゃない」を実践し、何事も先輩・後輩みんな積極的に参加し「楽しさ」や「遣り甲斐」を共有しながら会員増強に努めて行きたく思う。会員増強について… ワイズについて… YMCAについて… 学ぶ事のできた1年でした。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

YMCA だより



連絡主事 光永尚生

栗本理事期最後の YMCA 報告を感謝して書かせていただきます。

6月2日～15日には、World Challenge が世界の YMCA で連携して行われます。すでにご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、世界同時に同じ取り組みを行うという、取り組みで横のつながりを見つめなおしながら行う行動 (movement) です。特にユースが企画し、チェンジエージェントを中心に推進されています。今回のテーマは、「Run To YMCA World」です。

6月16日度～17日日には、全国 YMCA の総会にあたる、第7回日本 YMCA 同盟協議会が、御殿場市の日本 YMCA 同盟国際青少年センターYMCA 東山荘で開催されます。毎年、ワイズメンズクラブからは、東西日本区理事・次期理事にご臨席を賜りご挨拶をお願いしております。全国35YMCAの役員、学生YMCAやシニアなど多くの老若男女が集います。また、皆さまから多大なるご支援を頂いている事業の中で、これからのYMCAの担い手を育てる機会として継続されてきた日本YMCA主事認定証授与式が席上開催されます。全国の多くの方たちの前で、キリスト者としての信仰を持ち、75日間のステップIIを終え、主事論文を書きあげ、5人の総主事からの口頭試問を受けられた8名が、認証を受けられます。新しい、YMCA運動推進の担い手の誕生を共に祝う機会となります。1年間、たいへんお世話になりました。感謝とお礼を申し上げます。

編集後記

長いようで短く感じた1年間、時節に応じて編集後記を書き殴ってきましたが今月で最後。これから役員の皆様にあまりお会いできなくなることや、各クラブからのブリテンを郵送でいただけなくなるのが寂しい。ブリテンで皆様が様々な地域活動をされ奉仕していることを生の声で知り「Y's活動の心髄」を感じることができ大変嬉しく思いました。

明日から締めくくりの「第21回東日本区大会」が沼津で開催されます。沼津クラブの渡邊会長、大村実行委員長以下スタッフの皆様には大変お手数をおかけし、頭が下がる思いです。大川東日本区理事書記はこの準備に栗本東日本区理事と共に奔走しすぎて過労から顔面神経通を患ってしまいました。最後のご奉公として、司会をされる予定ですが、上手く発音できない部分もあるようですので、暖かく見守っていただければ幸いです。

締め括りになりますが、最後の日本区理事事務局長として至らぬ点が多々ありましたことを皆様に改めてお詫びいたします。また皆様とお会いできることを楽しみにしています。1年間ありがとうございました。東日本区栗本理事事務局 長 札埜慶一